

旧中島家住宅 へっつい通信 vol.6

発行：市民とともに行う栗東歴史民俗博物館創造活動事業実行委員会

発行日：2015 年 10 月 12 日（月・祝）



かまど再生サポーターの手で旧中島家住宅 へっつい再生成る!!

へっつい開きっ!! 開催 日時 10月12日（月・祝）

午前の部 10:00~12:00 / 午後の部 13:30~16:30

場所:旧中島家住宅・栗東歴史民俗博物館 研修室

4月19日（日）の事業説明会、そして4ヶ月6回にまたがる、かまど再生ワークショップを経て、ついに10月12日（月・祝）、再生されたへっついをお披露目する運びとなりました。ワークショップでは、延べ205人のかまど再生サポーター、そのほか実行委員会のメンバー、そして指導していただいた、宮奥淳司さんなど、ほんとうの多くの人方の協力を得ました。多くの方が土を捏ね、積み上げた旧中島家住宅の2代目へっついには、まさに多くの方々の手で作り上げられたへっついといえます。

そもそも、市民の手で再生する、というコンセプトは、旧中島家住宅のへっついのように土でできたかまどは、住民の手で作ることが多かった、というところからきています。いまや住人がいない旧中島家住宅ですが、使っている市民のみなさんが、住民にあたるのでは、と考えたのです。

さあ、いよいよ今日から、再生されたへっついに火を入れます。かまど再生サポーターのみなさんには、われこそが旧中島家住宅の住人だ、と思っていただき、大いに活用していただくことが、本当の意味で、この2代目へっついにいのちを吹き込むことになります。

どうぞ、これから末永く、このへっついを大事に、そして大いに使ってください。

事務局より、最後になりましたが、本当にありがとうございました。また、このたびは、お忙しい中アンケートにお答えいただき、重ね重ねありがとうございます。みなさんからいただいた貴重なご意見を今後の活動に活かしていきたいと思っています。不手際なことも多く、かまど再生サポーターのみなさん、実行委員会のメンバー、宮奥さんなど、ご迷惑おかけすることも多々あり、申し訳ありませんでした。今後とも、旧中島家住宅、そして栗東歴史民俗博物館をどうぞよろしくお願いいたします。



▲最後のワークショップ みなで土を運ぶ!



▲表面の化粧塗り。慎重に仕上げます。



▲完成した、2代目へっつい。みなさん使ってくださいね。



▲みなさんのご活躍りは、パンフレットに。イラストを描いてくださった、中川未子さん、ありがとうございました。